

住吉市民病院

# 説明会で批判相次ぐ 「医療空白どうする」



大阪市

大阪市の「二重行政のムダ」と決めつけ2018年3月末で閉鎖する市立住吉市民病院（同市住之江区）の跡

開かれた住民説明会  
1日、大阪市住之江区

地に誘致する民間病院が撤退し、医療空白が生まれる問題で、市は1日夜、住之江区内で住民説明会を開きました。

市健康局の甲田伸一局長らが出席し、この間の説明不足を謝罪し、誘致失敗に至る経過を説明しました。市が民間病院の誘致に失敗したのは3度目で、病院再編計画を見直すとしています。

住民からは「こんな

重要な場に市長がなぜ来ないのか」「そもそも医療の専門家が反対していたのにも関わらず府と市が申請したのが間違いだ」「カジノ賭博場に税金を使うより市民病院にこそ使ってほしい」「住吉市民病院がなくなることで、南部医療圏の小児周産期医療は半分余りの医療体制に低下する」など批判の声が相次ぎました。

市は今後、新たな再編計画についての説明会を開いていくとしています。